

# 平成 25 年度事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

## I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

### 【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

### 【目標指数】

項目	平成 25 年度 目標	H25 年度 実績(達成率)
当協会が企画する 国際理解講座数	39	47 (121%)

### 【事業実績】

#### 1 多様な交流や国際理解の推進

##### (1)国際理解出張講座

当協会役職員等が講師となり、下記のとおり様々なテーマの講座を実施した。

- 実施回数:47 回(前年度比 77%)
- 内訳(講座名と実施回数)
  - A 留学生とトモダチ(6 回)
  - B 国際人って?～カナダの多文化社会から～(5 回)
  - C これってアリ?～常識と非常識～(12 回)
  - D スポーツ DE 交流(4 回)
  - E 世界がもし 100 人の村だったら(9 回)
  - F 魚獲り(2 回)
  - G 写真で学ぼう、世界の食卓(9 回)
- 内訳

No	月 日	場 所	対 象	参加 人数	講座名	講師名 (敬称略)
1	5月16日	福島県立須賀川桐陽 高校	高校教員	30	G	理事 布田節子
2	6月11日	福島大学	大学生	20	C	主任主査 幕田順子

3	6月14日	福島市立大森小学校	小学生	32	E	理事 布田節子
4	6月21日	中島村立中島中学校	中学生	180	B	国際交流員 ケビン シャ
5	6月22日	国立福島工業高等専門 学校	高等専門 学校生	30	B	国際交流員 ケビン シャ
6	6月28日	福島市中央学習センター	社会人	90	B	国際交流員 ケビン シャ
7	7月4日	本宮市立白岩小学校	小学生	35	E	理事 布田節子
8	7月12日	本宮市立糠沢小学校	小学生	33	D	国際交流員 ケビン シャ他
9	7月16日	本宮市立本宮第一中 学校	中学生	123	B	国際交流員 ケビン シャ
10	7月25日	福島市信夫学習センター	社会人	30	E	理事 布田節子
11	8月28日	福島県立長沼高校	高校生	63	C	理事 布田節子
12	9月18日	郡山市立二瀬地域公 民館	社会人	15	G	主任主査 幕田順子
13	9月24日	本宮市立岩根小学校	小学生	48	A	理事 布田節子
14	9月25日	本宮市立和田小学校	小学生	43	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
15	10月2日	郡山市富久山公民館	高齢者	30	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
16	10月9日	本宮市立本宮小学校	小学生	73	G	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
17	10月12日	田村市都路公民館	小中学生	30	D	理事 布田節子
18	10月22日	喜多方市立山都小学 校	小学生	33	F	理事 布田節子
19	11月6日	福島市立野田小学校	小学生	117	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
20	11月13日	本宮市立まゆみ小学 校	小学生	68	A	理事 布田節子
21	11月16日	福島市吉井田学習セ ンター	小学生	30	A	理事 布田節子

22	11月20日	本宮市立白沢中学校	中学生	87	A	主任主査 幕田順子
23	11月30日	国見町立観月公民館	小学生	30	C	理事 布田節子
24	12月4日	伊達市立伊達小学校	小学生	85	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
25	12月4日	本宮市立五百川小学 校	小学生	56	G	主任主査 幕田順子
26	12月5日	本宮市立本宮第二中 学校	中学生	91	E	理事 布田節子
27	12月17日	福島市立野田小学校	小学生	85	E	主任主査 幕田順子
28	12月17日	福島市立野田小学校	小学生	75	E	主任主査 幕田順子
29	1月11日	いわき市立平窪公民 館	小学生	20	D	ふくしま青年海 外協力隊の会 三上博史
30	1月16日	二本松市立塩沢小学 校	小学生	37	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
31	1月18日	二本松市立中央公民 館	小学生	35	A	理事 布田節子
32	1月21日	福島大学	大学生	7	B	国際交流員 ビ ビアン ヒ
33	1月30日	白河市立信夫第二小 学校	小学生	17	F	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
34	1月30日	白河市立信夫第一小 学校	小学生	29	G	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子
35	1月31日	川俣町中央公民館	高齢者	60	G	理事 布田節子
36	2月4日	白河市立小野田小学 校	小学生	28	C	理事 布田節子
37	2月4日	白河市立第四小学校	小学生	67	E	理事 布田節子
38	2月5日	白河市立白河第一小 学校	小学生	78	G	主任主査 幕田順子
39	2月6日	白河市立五箇小学校	小学生	32	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子

40	2月6日	白河市立みさか小学校	小学生	69	C	グローバル教育研究会ふくしま 日下部喜美子
41	2月7日	福島市立松川小学校	小学生	88	E	理事 布田節子
42	2月15日	郡山市小山田公民館	小学生	20	A	ふくしま青年海外協力隊の会 三上博史
43	2月19日	福島市立福島第一小学校	小学生	54	C	グローバル教育研究会ふくしま 日下部喜美子
44	2月21日	福島市立福島第一小学校	小学生	63	E	理事 布田節子
45	2月26日	福島市立福島第一小学校	小学生	51	D	理事 布田節子
46	2月27日	福島市もちずり学習センター	高齢者	30	G	グローバル教育研究会ふくしま 日下部喜美子
47	3月1日	川俣町国際交流協会	一般町民	40	G	理事 布田節子

(のべ参加者数 2,487名)

(2) ふくしまグローバルセミナー2013

- 主 催：福島県国際理解教育ネットワーク（福島県、福島県教育委員会、JICA 二本松、当協会）
- 日 時：平成 25 年 12 月 21 日（土）10:30～22 日（日）12:30
- 場 所：JICA 二本松
- 参加者：123 名（うち両日参加者 83 名）
- 内 容：全体会、昼食/夕食交流会、セッション（「援助する前に考えよう」他計 16 講座）、グロセミカフェ、自主セッション（「海外研修で訪れたオランダの教育について」他（計 7 セッション）

(3) ワールドカフェ in Fukushima

地域住民と外国出身県民が「ワールドカフェ運営委員」となり、協働で国際交流イベントを企画実施した。

回	月日	場所	内容	参加人数 (うち外国出身者数)
1	5月11日(土) 10:00～14:00	福島市ふれあい歴史館 他	国際交流イベントの体験（土偶づくり、勾玉づくり他）	27(7)
2	5月18日(土) 13:30～16:00	当協会研修室	第1回打ち合わせ	8(1)

3	6月8日(土) 13:30~16:00	当協会研修室	第2回打ち合わせ	8(2)
4	6月15日(土) 13:30~16:00	同上	第3回打ち合わせ	9(3)
5	6月29日(土) 10:00~16:00	同上	第4回打ち合わせ	10(3)
6	7月6日(土) 9:30~15:00	飯坂温泉街、パルセ いざか	国際交流イベントの実 施(街中散策、うちわづ くり他)	26(6)

(のべ参加人数 88名 うち外国出身者 22名)

#### (4)留学生の国際交流活動の推進

当協会主催事業等様々な機会を捉えて、留学生と地域住民との交流の場を提供した。

回	事業名	内容	留学生数
1	国際理解出張講座「留学生とトモダチ」	外国人ゲスト	13
2	「わくわくワールドフェスタ in 相馬」	当協会出展ブース内での 県民との交流	1

(のべ参加人数 14名)

## 2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

### (1)ふくしまユースグローバルカレッジ 2013

概ね 39 歳以下の県内大学生及び社会人を対象に連続 5 回の講座を実施した。

#### 【連続講座】

回	月日及び会場	内容	講師(敬称略)	参加 人数 (うち外 国出身 者数)
1	6月22日(土)10:00 ~23日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多様 性	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 板橋美樹 (グロカレ1期生)	30(2)

2	7月20日(土) 9:30~16:00 当協会	世界のグローバル化	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま)	7(1)
3	9月7日(土) 9:30~16:00 当協会	メディアリテラシーと国際協力	湯本浩之 (宇都宮大学留学生・国際交流センター准教授)	5(1)
4	10月19日(土) 9:00~16:00 当協会	未来に向けて	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま) 板橋美樹、三上博史 (グロカレ1期生)	7(1)
5	12月21日(土)9:30 ~22日(日)15:00 (宿泊) JICA 二本松	グローバルセミナーへの参加及び振り返り	同上	3(0)

(のべ参加人数 52名 うち外国出身者 5名)

#### 【トライアル講座】

受講生の成果発表として、下記のとおり講座を実施した。

- 日 時：2月8日(土) 9:30~12:30
- 会 場：当協会
- 参加者：20名(一般10名、関係者10名)
- 内 容：講座「貧困について考えよう」「魚とりゲーム」、模擬講座「世界の食卓」

#### (2)次世代の海外研修への助成

39歳以下の県内大学生及び社会人がNGO等または個人で企画する海外研修事業に参加する際、その研修経費の一部を助成する事業を実施したところ、5件の応募があり下記の通り4人に助成した。

なお、その研修成果をふくしまグローバルセミナー2013(P4)の自主セッション、または活動等報告会(P22)において発表した。

【公募期間】 4月2日～5月10日、2次募集6月26日～7月26日

No	氏名	所属団体	研修名(国名)	交付額 (万円)
1	渡邊恭子	桜の聖母短期大学	桜の聖母海外研修プログラム(カナダ)	10
2	橋本康広	福島大学	東日本大震災とスマトラ沖地震から復興と開発をインドネシア人学生と考える(インドネシア)	8
3	高城菜奈子	福島大学大学院	四川大地震の復興に関する調査(中国)	5
4	磯貝美知	会津若松市国際交流協会	平成25年度男女共生グローバルサポーター事業「女性リーダーコース」(オランダ)	10

(合計 33 万円)

## II 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

### 【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

### 【目標指数】

項目	平成 25 年度 目標	平成 25 年度 実績(達成率)
外国出身のふくしま多文化共生サポーター活動人数	52	53(102%)

## 【事業実績】

### 1 安全・安心な地域づくりの推進

#### (1) 多言語による行政サービスの提供

##### 【多言語による相談窓口】

多言語相談員1名と通訳員3名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語については、毎週水曜日 13:00～17:00（第4・第5水曜日は予約制）に、行政サービスや在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

○ 相談件数：419件（前年度比 101%）

○ 相談言語：日本語(229)、中国語(170)、英語(11)、タガログ語(9)

○ トリオフォン利用件数：20件（前年同期比 222%）

○ 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	通訳 翻訳	家族	医療	在留 資格	教育	その他	合計
中国	62	14	18	28	25	7	47	201
日本	27	9	1	1	1	1	79	119
フィリピン	9	1	8		2	1	27	48
アメリカ	2				1		8	11
その他	7			1	1	1	30	40
合計	107	24	27	30	30	10	191	419

##### 【相談窓口等の広報カードの作成】

○ 発行月：6月、11月

○ 仕様：名刺サイズ4ページ、2色刷り 計10,000部

○ 内容：ルビ付き日本語、英語、中国語併記で相談窓口及び災害時対応等を案内

○ 配布先：日本語教室、市町村国際交流協会、大学、外国出身者コミュニティ他

#### (2) 多言語による相談対応

##### 【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、福島県のHPの「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳し、福島県及び当協会のそれぞれの英語及び中国語ページとして掲載するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。



- 相談件数：56 件(前年度比 56%)
- 相談言語：日本語(43)、中国語(11)、英語(1)、その他(1)
- 主な相談内容と相談者の出身国

内容 出身国	補償 等経 済的 支援	避難	放射 線	在留 資格	子ど もの 教育	県内 の状 況	仕事	ボラ ンテ ィア	その 他	合計
中国	1	1		1	2				7	12
韓国朝鮮									2	2
日本									36	36
その他							1		5	6
合計	1	1		1	2		1		50	56

### (3)外国の子どものサポート

サントリーホールディングス・セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン福島子ども支援 NPO 助成プロジェクト『フクシマススムファンド』を活用して、専従スタッフ1名を配置し、下記の事業を行った。

#### 【帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会議】

	月日及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 (うち外国出身 者数)
福島会場	6月3日(月) 13:00~16:00 コラッセふく しま 401 号室	講話：「帰国・外国人児童生徒等に対する文部科学省 の施策について」 植村恭子係長（文部科学省初等中等教育局 国際教育課日本語指導係） 報告：「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 助川徹指導主事（福島県教育庁義務教育課） 講演：「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関 係団体の連携の必要性」 佐藤郡衛教授（東京学芸大学国際教育セン ター） 参加者による意見・情報交換会	20(0)
会津会場	6月17日(月) 13:00~16:00 会津稽古堂 研修室 2	報告：「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 渡部朋史指導主事（福島県教育庁会津教育 事務所） 講演：「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関 係団体の連携の必要性」 佐藤郡衛教授（東京学芸大学国際教育セン ター） 参加者による意見・情報交換会	16(1)

郡山会場	6月24日(月) 13:00~16:00	報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 本田一意指導主事(福島県教育庁県中教育事務所)	19(2)
	郡山市労働福祉会館第3第4会議室	講演:「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関係団体の連携の必要性」 吉谷武志教授(東京学芸大学国際教育センター)	
参加者による意見・情報交換会			

(のべ参加人数 55名 うち外国出身者 3名)

#### 【帰国・外国籍児童生徒等担当教員等会議】

- 日時: 7月12日(金) 10:00~15:00
- 会場: 福島テルサ3階「あぶくま」
- 参加者: 14名
- 内容: 報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」  
助川徹指導主事(福島県教育庁義務教育課)
- 講演:「外国人児童生徒の多様性が育む教育の豊かさ~指導方法の開発・授業改善のヒント~」  
近田由紀子さん(前浜松市立瑞穂小学校教諭、平成23年度文部科学省日本語指導が必要な児童生徒の教育の充実のための検討会委員)
- 分科会: 小中高校別の意見情報交換

#### 【外国にルーツを持つ子どもの宿泊交流会】

- 日時: 8月10日(土) 10:30~8月11日(日) 13:30
- 会場: JICA二本松
- 参加者: 12名(子ども8名、保護者4名)
- 内容: 子ども一人一人に学生ボランティア1名が寄り添い、勉強や交流会、スポーツ等を行った。なお保護者に対しては進路ガイダンスなどを行った。

#### 【外国にルーツを持つ子どものための支援者研修事業】

- 研修会

	月日及び会場	内容及び講師(敬称略)	参加人数 (うち外国出身者数)
1	8月31日(土) 10:00~16:00 郡山市労働福祉会館	「外国にルーツを持つ子どもの心理と日本語学習支援の特徴」 関口明子((公社)国際日本語普及協会(AJALT)地域日本語教育担当理事)	51(3)
2	9月29日(日) 10:00~16:00 郡山市労働福祉会館	「外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習支援の具体的指導法」 樋口万喜子(NPO法人日本語・教科学習支援ネット理事長)	47(3)

3	11月16日(土)10:00 ～16:00 郡山市労働福祉会館	「文化間移動をする子どもたちの自立と社会的資源～「ライフコース」と「学びの連続性」の視点から」 齋藤ひろみ(東京学芸大学教育学部教授)	36(2)
---	---------------------------------------	--	-------

(のべ参加者数134名、うち外国出身者8名)

○ 先進地視察

上記研修会参加者で編成された5チーム(計12名)が、自主企画により計11か所の先進地視察を行った。

	月日	視察先	視察人数
1	9月30日(月)～10月1日(火)	① いわて*多文化子どもの教室むつみっこくらぶ(岩手県) ② NPO法人みちのく国際日本語教育センター(青森県) ③ 山形こども日本語サポートネット(山形県)	2
2	10月3日(木)～10月4日(金)	④ 多文化共生センター東京(東京都) ⑤ 墨田区立文花中学校夜間教室(東京都) ⑥ NPO法人みんなのおうち(東京都)	3
3	10月17日(木)	⑦ あそび舎「てんきりん」-地球っ子クラブ2000の日本語教室(埼玉県)	2
4	10月22日(火)～23日(水)	⑧ 多文化まちづくり工房(神奈川県) ⑨ 四谷ゆいクリニック(東京都) ⑩ 松戸市国際交流協会(千葉県)	3
5	11月2日(土)	⑪ NPO法人地球学校 地球っ子教室(神奈川県)	2

【帰国・外国籍児童生徒等の早期適応のためのサポーター事業】

No	期間(のべ時間)	場所	内容	依頼者	サポーター数(うち外国出身者数)
1	4月30日～7月16日(52時間)	本宮市立五百川小学校	フィリピン出身児童1名に対する日本語指導および教科通訳	本宮市教育委員会	1(1)
2	9月13日～1月28日(48時間)	福島市立森合小学校	フィリピン出身児童2名に対する日本語指導	福島市国際交流協会	1(0)
3	10月1日～12月13日(46時間)	白河市立白河南中学校	中国出身生徒1名に対する日本語指導および教科通訳	白河市教育委員会	1(1)
4	10月15日～12月13日(48時間)	須賀川市立西袋中学校	中国出身生徒1名に対する日本語指導および教科通訳	須賀川市教育委員会	1(1)

5	10月16日～12月12日(46時間)	南相馬市立原町第三中学校	フィリピン出身生徒1名に対する日本語指導	南相馬市教育委員会	1(0)
6	10月9日～2月20日(42時間)	福島市立蓬萊小学校	フィリピン出身児童1名に対する教科通訳	福島市国際交流協会	1(1)
7	12月11日～2月25日(19時間)	二本松市立東和中学校	フィリピン出身生徒1名に対する教科通訳と日本語指導	二本松市教育委員会	1(1)
8	1月16日～3月19日(34時間)	福島市立鎌田小学校	フィリピン出身児童1名に対する教科通訳と日本語指導	福島市国際交流協会	2(1)

(のべ活動人数9名 うち外国出身者6名)

#### 【外国の子どものサポートに関わる相談対応】

県内に在住する外国の言葉や文化背景を持ち支援を必要としている子どもについて、当該子どもやその保護者、教育関係者及び日本語ボランティア等地域支援者からの様々な相談に応じた。

#### 【外国出身生徒に対する県立高等学校巡回相談会】

要望があった県立高等学校に出向いて、外国出身生徒からの相談に応じた。

- 実施日と学校名：11月8日(金) 会津学鳳高校  
12月3日(火) 光南高校
- 相談者：中国出身生徒1名、フィリピン出身生徒2名
- 内 容：進路や学校生活等

#### 【外国の子どもへの支援活動団体への支援】

- ふくしま子どもの日本語ネットワーク  
「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の会場使用料の減免や広報協力、「進路ガイダンス」実施における企画相談や関係団体への橋渡し、広報協力等
- こおりやま日本語教室  
開設に向けた相談対応 等

#### (4) 防災訓練等への参加促進

9月第2土曜日の「世界救急法デー」にちなんで、日本赤十字社福島県支部と共催で、外国出身県民も参加しやすいよう通訳付きの救急法講習会を実施した。

- 日 時：9月14日(土) 13:30～16:00
- 会 場：会津アピオスペース大会議室
- 参加者：22名(うち外国出身者16名)

- 内 容：心肺蘇生法、AEDの使い方、温タオルの作り方など

(5) 「福島生活（中国語版）」 「Fukushima Life(英語版)」 の提供

- 発行月：毎月1回
- 内 容：イベントレポート、生活情報、外国出身者からの投稿記事などの最新情報をWEBで発信した。

(6) 外国人に関わる人権啓発

福島県国際課主催の外国人の人権に関わる啓発事業に対し、下記の通り協力した。

【啓発冊子の作成】

- 発行月：10月、2月
- 仕 様：A4版 14ページ、カラー刷り 計6,500部
- 内 容：福島県で暮らす外国人住民の数、外国人住民の抱える様々な問題他
- 配布先：公民館等公共施設、日本語教室、市町村国際交流協会、大学、外国出身者コミュニティ他

【啓発用クリアファイルの作成】

- 発行月：10月
- 仕 様：A4版 カラー刷り 計2,000部
- 内 容：外国人住民にとっての3つの壁、外国人住民のための相談窓口
- 配布先：各種会議等出席者、外国出身者コミュニティ他

【国際理解ワークショップの実施】

	月日及び会場	内容及び講師（敬称略）	参加人数 (うち外国出身者数)
1	10月6日(日) 13:30~16:00 郡山市労働福祉会館	報告「福島県の外国出身住民の現状」、演習「外国人の人権について」 講師：坂中澄子（ふくしま青年海外協力隊の会）、三上博史（福島県立萌世高校講師）	8(0)
2	11月2日(土) 13:30~16:00 いわき市文化センター	同上	16(6)
3	11月9日(土) 13:30~16:00 会津稽古堂	同上	13(1)

(のべ参加者数37名、うち外国出身者7名)

## 2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

### (1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介し、また当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

#### 【登録者数】

○人数：128名（前年度比 139%）

出身国内訳

日本（65）、中国（25）、韓国朝鮮（13）、フィリピン（10）、タイ（2）、アメリカ（2）、インドネシア・ブラジル・トンガ・アルゼンチン・エジプト・モンゴル・ルワンダ・ポーランド・メキシコ・インド・パキスタン（各1）

○内訳（複数登録あり）

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	その他の言語	
県北(73)	34	17	10	8	12	34
県中(35)	17	12	7		7	24
県南(5)	3	2		2	2	2
会津(7)	4	3	1		1	2
いわき(3)	2	1			1	1
相双(3)	1				2	1
県外(2)	2				2	
合計(128)	64	35	18	10	27	64

#### 【コーディネート総数】

件数：44件（前年度比 98%）

人数：82名（前年度比 88%）

内訳

①外国出身児童生徒に対する支援（帰国・外国籍児童生徒等の早期適応のためのサポーター事業）

○ 件数：8件（前年度比 114%）

○ 人数：9名（前年度比 129%）

②公的団体等からの依頼

○ 件数：30件（前年度比 86%）

○ 人数：54名（前年度比 70%）

○ 内訳

No	実施月日	場所	活動内容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者)
1	5月7日	いわき中央警察署	弁護接見の通訳（中国語）	福島県弁護士会	1(1)
2	5月10日	母畑温泉八幡屋	ブライトリングジェットチーム歓迎レセプションでの通訳（英語）	福島空港利用促進協議会	5(0)
3	5月20日	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館	スペイン人ダンサーワークショップの通訳（スペイン語）	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館	1(0)
4	5月30日	日本司法支援センター福島地方事務所	法律相談における通訳（中国語）	日本司法支援センター福島地方事務所	1(0)
5	6月1日～2日	福島駅前他	東北六魂祭りのインフォメーションセンターでの通訳（英語）	東北六魂祭実行委員会	4(0)
6	7月2日	福島県女性のための相談支援センター	入所者に対する説明通訳（タガログ語）	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
7	7月3日	福島空港	韓国観光客に対する通訳（韓国語）	福島県観光交流課	1(1)
8	7月6日	朱鷺メッセ（新潟市）	日本語スピーチコンテストでのゲストスピーカー	スピーチコンテスト事務局	2(2)
9	7月11日	—	書簡の翻訳（フランス語）	福島県国際課	1(0)
10	7月26日	—	書簡の翻訳（フランス語）	福島県貿易促進協議会	1(0)
11	9月8日	福島市音楽堂	中国紹介の講演	福島市音楽文化総合アドバイザー	1(1)

12	9月25日～ 26日	福島市内	スペイン人画家ワーク ショップの通訳（ス ペイン語）	NPO 法人岩手 未来機構	2(0)
13	10月4日	二本松市立小 浜小学校	授業（外国語英語活動） での補助	二本松市立小 浜小学校	2(2)
14	10月15日	二本松市立小 浜小学校	授業（外国語英語活動） での補助	二本松市立小 浜小学校	1(1)
15	10月31日	—	看板の翻訳（韓国語）	NPO 法人プロ ジェクト福島 屋商店	1(1)
16	11月5日	華の湯	懇談会でのテーブル通 訳（英語）	福島県国際課	1(0)
17	11月11日	ホテルサンル ートプラザ福 島	懇談会でのテーブル通 訳（中国語）	福島県観光物 産交流協会	5(4)
18	11月12日	ホテルリステ ル猪苗代	懇談会でのテーブル通 訳（中国語）	福島県観光物 産交流協会	2(2)
19	11月13日	清水学習セン ター分館	フィリピン紹介の講演	清水生きがい サークル	1(1)
20	12月7日	福島市中央学 習センター	フィリピン紹介の講演	福島ユネスコ 協会	1(1)
21	12月12日	飯坂学習セン ター	中国紹介の講演	飯坂ヤングカ レッジ	1(1)
22	12月14日	川崎市国際交 流センター	震災体験談の講演	川崎市国際交 流協会	1(1)
23	1月29日	国見小学校	中国出身児童の入学時 説明の通訳（中国語）	国見町教育委 員会	1(1)
24	2月4日	相馬市他	視察の通訳（英語）	福島県国際課	1(0)
25	2月5日	福島市渡利学 習センター	ブラジル紹介の講演	福島市渡利学 習センター	1(1)
26	2月5日	ホテルサンル ートプラザ福 島	懇談会及び懇親会でテ ーブル通訳（英語）	福島県国際課	2(0)
27	2月21日	—	書簡の翻訳（フランス 語）	福島県貿易促 進協議会	1(0)
28	3月8日	大田区役所	震災体験談の講演	大田区多文化 共生推進セン ター	1(1)
29	3月14日	吉川屋	懇談会でのテーブル通 訳（中国語）	福島県観光物 産交流協会	4(3)



30	3月26日	パルセいいざか	外国人観光客誘致についての講演	福島県観光交流課	6(6)
----	-------	---------	-----------------	----------	------

(のべ活動人数 54名 うち外国出身者 32名)

③当協会主催事業での活用

- 件数：6件(前年度比 200%)
- 人数：19名(前年度比 211%)
- 内訳

No	実施月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者)
1	8月2日	コラッセふくしま他	「外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故を考える福島フォーラム」における街中ツアー同行者及びゲストスピーカー	12(8)
2	9月22日	福島市アクティブシニアセンターA0Z	「結・ゆい・フェスタ 2013」での当協会ブース内での県民との交流	1(1)
3	11月8日	会津学鳳高校	巡回相談会での通訳(タガログ語)	1(1)
4	12月3日	光南高校	同上	1(1)
5	12月21日～22日	JICA 二本松	「ふくしまグローバルセミナー2013」での講師	3(3)
6	3月13日	白河市立白河第一小学校	入学手続きの通訳(ウルドゥー語)	1(1)

(のべ活動人数 19名 うち外国出身者 15名)

(2)外国出身県民コミュニティのサポート

下記の同国出身コミュニティ等について、関係団体とのネットワークの橋渡しや、様々な情報提供などを行い、その活動をサポートした。

- つばさ～日中ハーフ支援会(中国出身母親とその子等)  
母語保持に関わる研修会の企画相談
- NPO 法人ルワンダの教育を考える会  
各種事業の実施に関わる相談
- 外国出身県民キーパーソンアカデミー  
「結・ゆい・フェスティバル」出展に関わる相談
- エジプト日本友好会  
「エジプトウィーク in ふくしま」開催に関わる企画相談

### Ⅲ 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

#### 【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など多様な国際交流活動の関係団体との調整・連携を一層強化し、多様な国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

#### 【目標指数】

項目	平成 25 年度 目標	平成 25 年度 実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	850	726 (85%)
HP トップページ※ アクセス数	107,000	82,789 (77%)

※HP 訪問者数（同じ人が1日複数回訪問しても1人とカウント） 276,822人（前年度比124%）

#### 【事業実績】

##### 1 人材育成やネットワーク化の推進

###### (1) 日本語教室の活動支援

###### 【日本語ボランティアへの情報提供・相談対応】

メーリングリストを活用し研修会等の情報提供や日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

###### 【日本語教室ネットワーク会議】

- 日 時：2月22日（土）10：00～15：00
- 場 所：当協会
- 参加者：19教室（26名）
- 講 師：芳賀洋子さん（地球っ子クラブ2000代表）
- 内 容：実践報告（「多文化、多世代が集まる日本語教室の役割」）、講師との意見交換会他

###### 【日本語教室未開設地域における新設に向けたサポート】

外国人登録数が住民比で1%を超える白河市や伊達市に対し、日本語教室開設に向けた情報やノウハウを提供した。

## (2) 市町村国際交流協会等との連携強化

### 【中核的市国際交流協会ネットワーク会議】

- 日 時：2月18日（火）10:00～15:00
- 場 所：当協会
- 講 師：菊池哲佳さん（（公財）仙台国際交流協会主任）
- 参加者：5名（5市国際交流協会）
- 内 容：講演（「地域の中核を担う国際交流協会の役割とその成功事例」）、講師及び参加者間との意見交換 他

### 【地域の国際交流フェスティバルへの出展】

#### ①結・ゆい・フェスタ

- 主 催：福島市国際交流協会
- 日 時：9月22日（日）10:30～15:30
- 場 所：福島市アクティブシニアセンターA0Z
- 参加者：一般県民 約800名
- 内 容：当協会事業を紹介するとともに、外国出身県民3名の協力を得てヘッドバンドづくりなどを通じた県民との交流を行った。

#### ②わくわくワールドフェスタ

- 主 催：相馬市わくわくフェスタ実行委員会
- 日 時：3月16日（日）10:00～13:30
- 場 所：相馬市総合福祉センター
- 参加者：一般県民 約700名
- 内 容：当協会事業を紹介するとともに、留学生1名の協力を得て異文化クイズなどを通じた県民との交流を行った。

### 【市町村国際交流協会への訪問】

- 期 間：4月～5月、11月、3月
- 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、棚倉町、三春町、泉崎村、古殿町、猪苗代町、磐梯町、山都町、中島村の計18市町村国際交流協会  
本宮市、須賀川市、平田村、南会津町の計4市町村国際交流担当部署
- 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

## (3) 東北・北海道地域国際化協会連絡協議会定例総会

- 日 時：8月1日（木）13:30～17:00
- 会 場：福島ビューホテル「信夫」
- 参加者：22名
- 内 容：平成24年度にかかる事業報告・収支決算及び25年度にかかる事業計画・

収支予算についての協議や、各協会の重点事業等についての意見交換を行った。

## 2 相談・情報提供

### (1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：251 件(前年度比 114%)
- 内訳

相談内容	人の紹介	国際理解教育	イベント情報	通訳翻訳	団体運営	日本語関係	留学語学	国際化の現状	協会業務	その他	合計
行政関係	18	2	3	13		1		1	12	2	52
市町村国際交流協会	4	2	3	1					13	2	25
国際交流・協力団体	3	5	6			5	2	1	4	3	29
教育関係者	9	9	3			5			4	2	32
一般	25	4	3	2		9	4		9	8	64
報道関係者	11		1						1	6	19
各種団体等	6	2	4	2	1				4	1	20
県外	3		3			1	2			1	10
合計	79	24	26	18	1	21	8	2	47	25	251

### (2) 広報紙「Gyro(ジャイロ)」の発行

- 発行月：9月、3月
- 仕様：A4版8ページ、フルカラー、3,000部
- 内容：世界で活躍した専門学校生や地域で活動する団体の紹介、コロンビアの紹介、当協会の主催事業案内と報告など
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

### (3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を 1 名配置し、当協会HP上で、県内外で実施されている国際交流関連のイベント情報や東日本大震災関連情報などを、随時更新して迅速に発信するとともに、外国人向けの生活情報及び防災情報のページの内容及び多言語の充実を行った。

### 【ホームページの更新】

ホームページの内容更新やリンク切れの確認など随時見直しを行うとともに、ホームページでの最新情報の更新を迅速に行った。

- トップページアクセス件数：82,789件（前年度比 107%）
- ホームページ訪問者数：276,822人（前年度比 124%）

### 【メールマガジン】

国際交流に関する身近なイベント情報などをメールマガジンで発信した。

- 登録者数：191名（前年度比 109%）
- 発信回数：23回（前年度比 96%）

### 【外国人のための生活情報・防災情報ページの多言語化】

- 言語：やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語
- 内容：生活情報（生活相談窓口、入国・在留資格・外国人登録、労働相談、育児・教育、医療情報など）  
防災情報（気象情報、「大きな災害が起こると」、「自然災害に備えるために」など）

## 3 調査研究・提言

---

### (1) 日本語教室活動実態調査

日本語を学びたい外国出身県民や、日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の最新の活動状況を提供するため、県内の日本語教室の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：31団体（休止中1団体を含む）

### (2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流・協力団体の最新の活動状況を提供するため、各団体の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：市町村国際交流協会（23団体）、国際交流・協力団体（71団体）

#### 4 協働事業の推進

##### (1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に拠点を有し活動する非営利団体5団体の5事業に対し、下記のとおり助成金を交付し、民間レベルの国際交流の推進の一助とした。

【公募期間：4月2日～5月10日】

No	団体名	活動名	交付額 (万円)
1	NPO法人ルワンダの教育を考える会	ルワンダ人留学生との交流会	8
2	福島県日中友好協会	第2回 福島復興！日中友好交流の集い	5
3	ふくしま・ベトナム友好協会	シンポジウム「福島の復興に向けベトナムとの交流を探る」	9
4	福島日中文化交流会	ワークショップ「アジアの民族楽器はどんな音？」	5
5	菅波伝統文化継承会	菅波伝統芸能 in ハイフォン	10

(合計 37 万円)

##### 【助成対象活動等報告会】

- 日 時：2月8日（土）13:30～16:00
- 場 所：当協会研修室
- 参加者：31名
- 内 容：国際交流・協力活動への助成事業等実施団体からの報告、海外研修助成者からの報告、ふくしまユースグローバルカレッジ生からの成果発表、参加者交流会

## IV 世界に向けた福島発信

### 【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

### 【事業実績】

#### 1 情報の発信

---

##### (1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、国内外に向けて福島の復興が進む現状を多言語で発信した。

##### 【ホームページ上でのWEB発信】

- 発行回数：月3～4回ブログ発信
- 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、タガログ語、ポルトガル語の7か国語
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他

##### 【印刷物】

- 発行月：6月、9月、3月
- 発行部数：6月 日本語 1,000部  
9月 日本語 2,000部 英語 1,000部 中国語 1,000部  
3月 日本語 2,000部 英語 1,000部 中国語 1,000部
- 仕様：A4版 2ページ 両面カラー刷り
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

##### (2) 外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故を考える福島フォーラム

##### 【原発事故の影響を見て感じる街中ツアー（オプション）】

- 日時：8月2日（金）10:00～11:30
- 会場：福島駅西口周辺
- 参加者：27名
- 内容：スーパーマーケットの野菜売り場、除染済み公園、小学校等の視察

**【フォーラム】**

- 日 時：8月2日（金）13:00～16:00
- 会 場：コラッセふくしま「多目的ホール」
- 参加者：77名（うち外国出身者17名）
- 内 容：災害の現況報告、外国出身県民に対するアンケート結果報告、外国出身住民とのグループセッション

**【原発事故からの復興を見て感じるバスツアー（オプション）】**

- 日 時：8月3日（土）8:00～16:00
- 会 場：川内村内、福島ビューホテル
- 参加者：26名
- 内 容：川内村からの現況報告及び村内の視察、飯館村長からの講話

**【『外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故 FIA活動の記録～FIAの取り組みと外国出身住民100人の証言』の発行とHP掲載】**

- 発行月：7月
- 発行部数：700部（3月の100冊増刷含む）
- 仕 様：A4版 88ページ 全面カラー刷り
- 内 容：災害の状況、当協会の主な取り組み報告、アンケート報告、外国出身住民100人の証言等
- 配布先：賛助会員、県内の市町村国際交流協会等関係団体、全国の自治体及び県国際交流協会等

**【『外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故 FIA活動の記録～FIAの取り組みと外国出身住民100人の証言』の一部抜粋の翻訳版のHP掲載】**

- 言 語：英語、中国語
- 内 容：「はじめに」「外国出身住民100人のアンケート報告」「おわりに」



## V その他

### 1 関係機関への講師派遣等

関係機関主催事業に対し講師等として、当協会職員を派遣協力した。

月日	主催者	内容	役職員名
10月25日 3月12日	(財)自治体国際化協会	平成25年度地域国際化協会 連絡協議会課題別研究会委 員	事務局長 山内孝子
9月11日	福島県高等学校国際理解教 育研究協議会	第26回高校生による国際理 解のための弁論大会審査員	専務理事 斎藤 隆
10月3日	(財)自治体国際化協会	平成25年度地域国際化協会 職員国内研修会講師	主任主査 幕田順子
10月19日	福島県高等学校商業教育協 会	第30回福島県商業高等学校 英語スピーチコンテスト審 査員	国際交流員 ビビアン ヒ
11月6日	福島県立福島南高等学校	職業体験を聞く会講師	主事 菅本裕介
11月29日	福島県ユースホステル協会	日独青少年指導者セミナー パネラー	主任主査 幕田順子
2月12日	福島県高等学校国際理解教 育研究協議会	第16回国際理解のための英 語弁論大会審査員	国際交流員 ビビアン ヒ
3月29日	大田区多文化共生推進セン ター	多言語支援のための防災ボ ランティア養成講座講師	専務理事 斎藤隆

### 2 関係機関誌等への寄稿

関係団体の機関誌に原稿寄稿の協力をした。

機関誌名	発行者	記事名
自治体国際化フォー ラム12月号	(財)自治体国際化協会	多文化共生のとびら

国際交流 12 月号	(公財) 入管協会	交流の輪-日本各地の国際交流
------------	-----------	----------------

### 3 東日本大震災・原発事故被災地視察団への支援

---

#### (1) 日米協会教員研修ツアー(福島視察)

- 主 催：日米協会
- 月 日：7月17日(水)～18日(木)(1泊2日)
- 参加者：アメリカ国内の高等学校教員8名、日米協会教育部長・副部長 計10名
- 視察先：福島市立清明小、伊達市内果樹農家、広野町役場、東京電力福島復興本社、特定非営利活動法人ザ・ピープル(いわき市)

### 4 インターンシップ等の受け入れ協力

---

#### (1) 福島大学インターン生

- 期 間：9月10日(火)～11日(水)(2日間)
- インターン生：福島大学3年生1名
- 内 容：当協会事務所内での仕事の体験、報道機関への事業PR他

#### (2) 教員体験研修生

- 期 間：10月2日(火)～12月28日(金)(3か月間)
- 研修生：国見町立国見小学校教員1名
- 内 容：当協会事業全般の体験、県内小中学校訪問他